

災害時に外国人を誰一人残さない

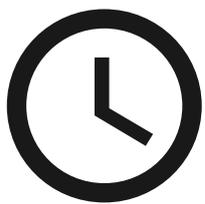
～東日本大震災から10年を振り返り
様々な経験を今と未来に活かす～



《東日本大震災復興の象徴「ブルーインパルス」》

震災後10年の復興の軌跡を振り返るとともに、この10年の間に地域で生じている国際的な問題の解決に向けた取り組みや、ダイバーシティ（地域の多様性）に対応した災害対応について理解を深めるために、オンラインでシンポジウムを開催します。

オンライン(ZOOMウェビナー)開催



2021年2月8日（月）

14:00～16:00

どなたでもご参加いただけます！

申込方法

下記のフォームからお申込みください

アドレス：<https://bit.ly/3fMcqlj>

申込期限：2021年2月1日（月）

定員：300名



お問い合わせ先

（一財）自治体国際化協会

JETプログラム事業部 調整課

mail:gyomu@clair.or.jp

多文化共生部 多文化共生課

mail:tabunka@clair.or.jp

基調講演



「外国人の立場からの災害対応と復興支援」

ダニエル・カール氏

高校時代、交換留学生として奈良県智弁学園に1年間在日。大学生時代、大阪の関西外国語大学で4ヶ月間学び、その後、京都二尊院に2ヶ月間ホームステイ、佐渡島で4ヶ月間、文弥人形づかいの弟子入りをした。大学卒業後、日本に戻り文部省英語指導主事助手として山形県に赴任し、3年間英語教育に従事。現在は東京に居をおき、翻訳・通訳サービス会社を経営する社長を務める。英語、ドイツ語、山形弁を操り、豊富な知識とサービス精神を生かして、レポーターやコメンテーターなどメディアでもマルチな活躍を続けている。



「誰一人残さない災害対応」

田村 太郎氏 (一財) ダイバーシティ研究所代表理事

阪神大震災で被災した外国人への情報提供を機に「多文化共生センター」を設立。地域における多文化共生社会の推進に携わる。自治体国際化協会参事(2005年度)などを経て、2007年から現職として企業や自治体によるダイバーシティの取り組みをテーマに調査研究やコンサルティングを行う。復興庁復興推進参与、明治大学大学院兼任講師も務める。

パネリスト



小國 大作氏
岩手県ふるさと振興部国際室長



須藤 伸子氏
(公財) 仙台観光国際協会
国際化事業部国際化推進課長



リチャード・ハルバーシュタット氏
石巻市復興まちづくり情報交流館中央館長



マクマイケル・ウィリアム氏
福島大学国際交流センター 副センター長



サラ・チュウ氏
陸前高田市国際交流員 (CIR)

プログラム

14:00 開会挨拶

14:10 基調講演

ダニエル・カール氏

14:30 モデレーター講演

田村 太郎氏

14:55 トークセッション

「震災から10年間の歩み」

「外国人が主体的に参加する地域づくり」

16:00 閉会